

学科学年	S1	科目分類	計算機入門[計算機] Introduction to Computer Systems	講義 必修	前期 1履修単位	学習教育目標 b, d, j A, C, D	担当	大久保進也, 鈴木康人 Shinya OHKUBO, Yasuhito SUZUKI
概要	今日の情報・通信技術の発展により、「情報」が時間と空間を超えて関心を持つようになってきた。このような情報化社会のもと、制御情報工学科においては、コンピュータをツールとして利用するための学習が重要である。そこで本講義では、現代のコンピュータとソフトウェアの進展を感じさせる体験・入門の場とする。							
科目目標 (到達目標)	コンピュータの基本的な構成要素やその動作原理を学び、ハードウェア・ソフトウェアおよびネットワーク技術の基礎知識など、コンピュータに関して幅広く一般的な知識を身につけることを目標とする。							
教科書 器材等	ネットワーク社会における情報の活用と技術 ICT基礎教育研究会 著 実教出版(株), 独習UNIX ケビン・リチャード 他著 (株)翔泳社, プリントを適宜配布する							
評価の基準と 方法	定期試験の平均点80%, 授業への積極姿勢(授業態度, 出席状況)を20%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目	情報処理基礎, プログラミング演習 I							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	制御情報工学科演習室の環境 (Linuxとは? Window Makerの設定)						
第2回		情報の管理とセキュリティ (演習室におけるログイン, パスワードの設定)						
第3回		セキュリティを守る技術						
第4回		情報の収集・整理 (演習室におけるインターネット環境)						
第5回		情報の加工・表現 (文章作成方法)						
第6回		情報の発信・交換と評価 (プレゼンテーション)						
第7回		定期試験						
第8回		情報伝達の多様化と社会の変化 (コンピュータの歴史 I)						
第9回		情報伝達の多様化と社会の変化 (コンピュータの歴史 II)						
第10回		コンピュータのしくみ (構成要素, 動作原理, プログラムとアルゴリズム)						
第11回		情報のデジタル表現						
第12回		問題解決の方法論 (表計算ソフトウェア)						
第13回		コンピュータを利用した問題解決 (表計算ソフトウェア)						
第14回		演習問題						
第15回	×	定期試験						
第16回								
第17回								
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィス アワー	放課後 (16:45以降) は校務の場合を除いて教員室にいますので、比較的対応できる。教員室: 専攻科棟 2階							
授業アンケート への対応	質問などについては、授業中でも適宜対応する。							
備考	本講義に関する質問は、メールでも受け付ける。s-ohkubo@numazu-ct.ac.jp							
更新履歴	060113新規, 060123訂正							